

**総務厚生  
常任委員会**

総務費（760万円）

**質** 新型コロナウイルス感染症対策のための備品購入について、学校分も総務費の予算に一括して計上してあるという説明であるが、購入する備品はどのようなものか。

●令和2年度大崎町一般会計補正予算（第5号）  
◇新型コロナウイルス感染症対策事業費（備品購入費）  
（関連する記事が4ページに掲載）

中学校費（220万円）

**質** 中学校の美術室に空調設備を設置することであるが、他の専門科教室の理科室や技術家庭科室等は整備されているのか。

**答** 理科室は整備されているが、他の専門科教室には整備されていない。今回は中学校側から利用頻度の高い美術室に空調を設置できないか相談があったことから整備を進めるものである。

新型コロナウイルス感染症対策の備品購入状況

納入先	納入数量	
	AI認証付き検温モニター	非接触型検温消毒器
小学校	12	18
中学校	3	3
合計	15	21

**答** 購入する備品は、AI認証付きの検温モニター、オゾンを活用した除菌・脱臭器、非接触型の検温消毒器である。

**文教経済  
常任委員会**

●令和2年度大崎町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

●令和2年度大崎町水道事業会計補正予算（第2号）  
◇収益的支出（修繕料600万円）

**質** 大崎クリーンセンターは建設されてから何年経過しているのか。また、今後クリーンセンターを維持管理するための費用を積み立てるなどの対策を考えているのか。

**質** 昨年の6月から7月に発生した豪雨時に、町内7箇所の水道施設が落雷被害を受けているとのことであるが、この状況からすると、現状の落雷被害を防ぐシステムでは脆弱な部分があるのではないかと考えられる。メーカーからは改善点等は示されていないか。

**答** 現在の落雷被害防止対策としては、ヒューズやアレスタ、避雷針等を設置しているが、これ以外に、最近新たに落雷被害を防止する機器を試験的に一箇所設置しており、その試験結果が良ければ、今後は新しい機器を採用していく。

**答** クリーンセンターが完成してから17年経過している。公共下水道の収入については、ほとんどが下水道使用料である。支出については、施設を維持管理するための維持管理費や下水道施設の建設時に借り入れた起債の返済が主であり、収入に対して支出が大きいく上回っている状況であることから、現在のところ施設の維持管理や修繕等を行うための積み立ては出来ていない状況である。